

平成 19 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「特別賞」



羽 田 澄 子 (はねだ すみこ)

映画監督

1926 年 1 月 3 日生まれ

【授賞理由】

羽田氏は、認知症という病気の存在を映画という媒体を通して広く社会に知らしめるとともに地域社会がいかに認知症と向き合っていかなければならないかを自覚せしめるという一連の活動は、認知症のケアのあり方に大きな一石を投じた。その功績に対し、本賞を授与するものである。

【略 歴】

1950年

岩波映画制作所の設立とともに入社。岩波写真文庫の編集に携わったのち、映画部門に移る。

1957 年

記録映画「村の婦人学級」を初演出

岩波映画製作所での代表作に「古代の美」(’58)「風俗画―近世初期―」(’67)「もんしろちょう―行動の実験的観察―」(’68)「狂言」(’69)「法隆寺献納宝物」(’71)「―歌舞伎の魅力―管承相片岡仁左衛門」(’82)「―歌舞伎の魅力―音楽」(’85)など。

1977 年

自主作品「薄墨の桜」で注目をあつめる。

1981 年

岩波映画製作所を定年退職、フリーになる。

【主な作品】

1982 年

「早池峰の賦」

女性監督として初の芸術選奨文部大臣賞を受賞。エイボン芸術賞。日本映画ペンクラブ特別推薦。

1986 年

「痴呆性老人の世界」

毎日映画コンクール教育文化映画賞。キネマ旬報ベストテン文化映画部門第 1 位。日本映画ペンクラブ・ノンシアトリカル部門第 1 位。

1990 年

「安心して老いるために」

山路ふみ子賞福祉賞。文化庁優秀映画作品賞。

1997 年

「住民が選択した町の福祉」

1999 年

「―続・住民が選択した町の福祉―問題はこれからです」

毎日映画コンクール記録文化映画賞。キネマ旬報ベストテン第 1 位。

2006 年

「あの鷹巣町のその後」

キネマ旬報ベストテン文化映画部門第 1 位.

2007 年

「終わりよければ すべてよし」

* これまでに、90 本を越えるドキュメンタリーを手がけている.

【著 書】

- ・ 早池峰の賦（平凡社）
- ・ 安心して老いるために（岩波書店）
- ・ 映画と私（晶文社）